

臨床研究へのご協力のお願い

静岡医療センターでは、下記の臨床研究を実施しており、「●対象となる患者さん」に該当する方へご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 精神看護学実習における「看護師の臨床判断を学ぼう！」カンファレンスの効果

[研究責任者] 看護学校 教員 荻澤英幸

[研究の背景] 看護基礎教育において、思考に関する能力の育成は重要である。新カリキュラムに変更に伴い、特に臨床推論や臨床判断の育成が重要視されている。臨床判断は学校内で行われる演習などでも育成はされるが、臨地実習での育成が特に重要視されている。そこで、精神科実習において臨床判断がどのように育成されているのか、カンファレンスの中で学生の思考プロセスがどのように変化したのか明らかにすることで今後の教育活動に活用できる

[研究の目的] 精神科実習における臨床判断カンファレンスでの効果を明らかにする

[研究の方法]

●対象となる方

2024 年 8 月 20 日～8 月 30 日時点で当校 3 年生 精神新看護学実習中の学生 5 名

●研究期間：機関長許可日～2026 年 8 月 31 日

●利用する試料（血液・組織等の検体）、カルテ等の情報

試料：なし

カルテ等の情報：看護学生 3 年生、5 名に対して、カンファレンス内容をリフレクション出来るようにアンケート用紙を配布し、カンファレンス終了後に記載し回収を行った。記載内容や学生の発言からカンファレンスの中で学生の思考プロセスがどのように変化したのか明らかにするために、結果の解釈を行った。

●試料や情報の管理

研究責任者は、研究等の実施に関わる文書（申請書類の控え、通知文書、研究対象者識別コードリスト、同意書、症例報告書、その他データの信頼性を保証するのに必要な書類または記録など）を医局の鍵のかかるロッカーに保管する。

個人情報の取扱い及び管理については〔個人情報の取扱い〕の項参照

[研究組織]

この研究は、多機関との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関

の研究責任者等で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）：看護学校 荻澤英幸

●その他の共同研究機関等：なし

[個人情報の取扱い]

研究に利用する試料や情報を院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。

[研究の資金源、利益相反について]

この研究は、看護学校の研究資金を用いて実施されます。この研究における当院の研究員の利益相反^{*}については、当院の臨床研究利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。また、研究組織に係る研究員の利益相反については、それぞれが所属する機関において、適切に管理されています。

^{*}外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。

[研究の参加について]

この研究実施への参加や途中での参加中止は、あなたの自由な意思で決められます。

研究の対象となる方又はその代理の方が、この研究への参加（試料（血液・組織等の検体）やカルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構静岡医療センター

看護学校 荻澤英幸

電話 055-976-5455（代表）